

## 令和6年度 西成区地域福祉フォーラム 要旨

### 【開催概要】

日時：令和6年11月30日 10:30～12:15

場所：西成区民センター

主催：西成区地域福祉推進会議、西成区役所、西成区社会福祉協議会

### 開会のあいさつ

#### 司会

フォーラムのテーマ「いろいろな人がいるからおもしろい～共に支え合う地域づくりをめざして～」を紹介。

#### 野口 西成区副区長 あいさつ

西成区は、近年特に多国籍で多様な背景を持つ方々が共に暮らす地域となりました。この多様性は、西成区の魅力であり、強みであると感じています。

私たちが目指すのは、異なる文化や背景を持つ人々が、互いに理解し関係性をつくることで支え合うことができる地域社会です。

本日は講演の他 ミニワークショップ、パネルディスカッションを通じて、地域に住む外国人の現状を知っていただき、やさしい日本語の使い方や、彼らが感じていることを共有する機会を設けることでお互いの理解を深める企画となればと思います。

私たちの地域が、誰もが安心して暮らせる場所になるためには、皆さん一人ひとりのご協力が欠かせません。本日のフォーラムが、その一歩となることを願っています。

### 【講師 紹介】

水内 敏雄 様

大阪公立大学客員教授

2013年より西成区特区構想有識者として、就労、福祉、にぎわい、まちづくりの担当として御尽力されている。

大学退職後は、2022年より西成区労働福祉センターに勤務され、外国人雇用支援を担当されている。

### 【講演 西成区在住外国人との日本語での交流とは？ 要旨】

- ・西成区の人口は 1965 年の 21 万人から減少し、現在は 10 万人程度となっているが、外国人の増加、特に若者の流入が顕著となっており、浪速区、生野区、中央区とともに人口の増加が進み、外国人の割合が高くなっている。
- ・西成区では現在出生数の減少が止まっており、要因としては外国人の出産が増えていることが大きいと考えられる。
- ・西成区では外国人の居場所が増え、国際的なコミュニティが形成されつつあり、外国人の生活支援や就労サポートの拠点としての役割を果たしていることから、西成区は外国人の受け入れにおいて全国的に先進的な地域であるといえる。
- ・外国人留学生は勉強と仕事の両立で大変忙しく、地域との関わりをもつことは簡単なことではないが、専門学校を出た外国籍の方は小学校 6 年生程度の日本語は知っているということを認識したうえで、我々日本人も関わり方を考えていく必要がある。など

#### 【ワークショップ 「やさしいにほんご」 について知っていますか？ 要旨】

講師：公益財団法人 大阪国際交流センター 常務理事兼事務局長

梅元 理恵 様

- ・「やさしい日本語」とは、「優しい」「易しい」の二つの漢字で表すことができ、簡単で配慮や思いやりのある日本語で、外国人や日本語を母語としない人々に理解しやすいように工夫されたもの。
  - ・「やさしい日本語」は、災害時だけでなく、行政や病院などの生活の場面でも使われ、外国人観光客にも有効なものである。
  - ・基本的なルールには、一文を短くする、カタカナや外来語を避ける、あいまいな表現を避ける、標準語を使う、漢字にふりがなをつけるなどがある。
  - ・外国人がすべて英語を話せるわけではなく、英語で話しかけられることを嫌がる人もいる。
  - ・「やさしい日本語」を使うことで、外国人住民との交流や理解が深まり、多文化共生の第一歩となると考えられる。
  - ・多文化共生は、異なる国籍や民族の人々が互いの文化的違いを認め合い、対等な関係を築くことを目指すものである。など
  - ・上記の講演とともに、会場参加者と共にやさしい日本語への言い換えを行うワークショップを実施。
- 避難する → 逃げる
- 常備薬 → いつも飲んでいる薬
- 緊急時 → 急に困ったとき、とても危ないとき

公共交通機関でお越しください→電車やバスで来てください など

### 【パネルディスカッション 要旨】

水内氏、梅元氏、中国、ベトナム、ネパール出身のパネリスト 5 名によるディスカッションを実施。

### 質問 1：日本での生活の中でうれしかったことは？困ったことは？

朱さん（中国出身）：

うれしかったこと：日本では古い建物を大事にしていることがうれしい。

困ったこと：夜間の改造バイクの騒音。

陸さん（中国出身）：

うれしかったこと：日本語が理解できるようになったこと。

困ったこと：日本語の婉曲表現の理解が難しい。

バスネットさん（ネパール出身）：

うれしかったこと：日本の教育制度が丁寧なこと。

困ったこと：漢字の壁と外国人への理解不足。

トオンさん（ベトナム出身）：

うれしかったこと：日本人の時間を守る文化が身についたこと。

困ったこと：言葉の壁と文化の違い。

ゴックさん（ベトナム出身）：

うれしかったこと：経済的な問題を解決できたこと。

困ったこと：文化の違いとルールが多さ。

### 質問 2：日本語を覚えるためにしてきたことは？

朱さん：独学で日本語を学び、アニメを通して勉強。

陸さん：日本語学校で日記を書くことで勉強。

広告を利用してひらがなとカタカナを覚えた。

バスネットさん：ネパールで日本語を学び、ホテルでの仕事を通じて言葉を学んだ。

トオンさん：日本での生活で大阪弁を学び、イベントに参加して日本語を話す機会を増やした。

ゴックさん：日本人と話す機会を作り、会話を通じて日本語を上達させた。

### 質問3：西成区（大阪）の良いところは？

朱さん：リラックスした町の雰囲気と安いホテルが多いところ。

陸さん：交通の利便性と人情の厚さ。

バスネットさん：交通の便が良く、観光客にも魅力的なところ。

トオンさん：大阪人の親切さとおおらかさ。

ゴックさん：大阪の人々との出会いそのもの。

講師（水内氏・梅元氏）によるまとめ

- ・育った環境や文化が異なる日本人と外国人で違いがあるのは当たり前であることを理解し、お互いが新たに出会い、話をすることで知らない世界が開けていくと考えられる。
- ・日本語が理解できずに困っている外国人には思いやりを持ったやさしい日本語で話しかけるなど手を差し伸べてもらいたい。
- ・若い外国人の方がたくさん西成区で住まわれているので、一緒にこの西成を安心して安全なまちにしていきたい。